

2014年3月期 第2四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第2四半期(累計)業績	2013/3期 第2四半期		2014/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	35,334	100.0%	36,867	100.0%	1,532	4.3%
営業利益	3,872	11.0%	3,795	10.3%	△76	△2.0%
営業外収益	528	1.5%	794	2.2%	265	50.2%
うち為替差益	51	0.1%	311	0.8%	259	504.2%
営業外費用	519	1.5%	450	1.2%	△68	△13.2%
うち支払利息	262	0.7%	246	0.7%	△15	△5.8%
経常利益	3,881	11.0%	4,139	11.2%	257	6.6%
特別利益	-	-	194	0.5%	194	-
特別損失	26	0.1%	17	0.0%	△9	△34.8%
税金等調整前四半期純利益	3,854	10.9%	4,316	11.7%	461	12.0%
法人税等	1,330	3.8%	1,082	2.9%	△248	△18.7%
法人税等調整額	32	0.1%	299	0.8%	267	824.4%
少数株主利益	155	0.4%	656	1.8%	501	323.0%
四半期純利益	2,336	6.6%	2,277	6.2%	△58	△2.5%
為替レート(1USD/円)	79.31		98.59			
為替レート(1ユーロ/円)	98.74		128.53			

《連結業績(前年同期比)》

・当第2四半期(累計)は、前年同期比で、
 売上高 +15億円(+4.3%)
 営業利益 △0.7億円(△2.0%)
 経常利益 +2.5億円(+6.6%)
 四半期純利益 △0.5億円(△2.5%)

【売上高】非自動車関連(特に大型船舶、建設機械向け)の需要減、国内自動車生産台数減少等の影響により国内売上が減少したが、自動車関連を中心に海外売上が伸長し、全体では増収となった。

【利益】増収効果や生産効率の改善の一方で、中期経営計画に基づくグローバルベースでの事業基盤拡大に伴う固定費等の費用増加や、高付加価値製品の割合が大きい非自動車関連の売上減少などにより、営業利益は前年同期比で減益となったが、為替差益などの増加もあり経常利益は増益。四半期純利益は、少数株主利益などの増加等から減益となった。

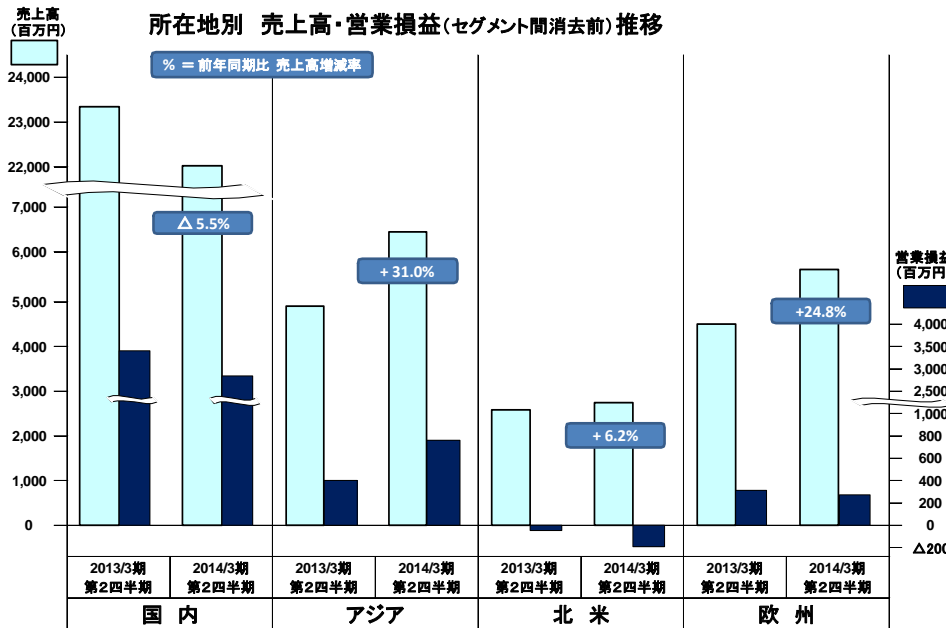
業績推移	2011/3期 通期(実績)	2012/3期 通期(実績)	2013/3期 通期(実績)	2014/3期 第2四半期【予想】*1	2014/3期 第2四半期(実績)	今回修正有り
						2014/3期 通期【予想】*2
売上高	63,451	70,326	70,886	35,000	36,867	73,500
営業利益	7,713	9,523	6,286	3,200	3,795	6,900
(営業利益率)	(12.2%)	(13.5%)	(8.9%)	(9.1%)	(10.3%)	(9.4%)
経常利益	6,714	8,947	6,935	3,500	4,139	7,200
四半期(当期)純利益	8,123	5,435	4,385	2,000	2,277	4,400

*1 2014/3期 第2四半期の【予想】は、2013.8.9付公表の直近業績予想値

*2 2014/3期 通期の【予想】は、今回2013.11.14付公表の修正後業績予想値

セグメント情報(事業別)	外部顧客への売上高					
	2013/3期 第2四半期	構成比	2014/3期 第2四半期	構成比	前年同期比 増減額	同 増減率
自動車用エンジン軸受	21,441	60.7%	23,798	64.6%	2,357	11.0%
自動車用エンジン以外軸受	7,262	20.6%	7,094	19.2%	△167	△2.3%
非自動車用軸受*	6,410	18.1%	5,768	15.7%	△642	△10.0%
その他*	220	0.6%	205	0.5%	△14	△6.7%
合計	35,334	100.0%	36,867	100.0%	1,532	4.3%

*2013年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました分散型高性能無給油軸受事業を「その他」に変更しております。



《連結(通期)業績予想の修正》

・最近の業績動向等を踏まえ、左記のとおり、2013年8月9日付公表の「2014年3月期(通期)連結業績予想数値」を、本日付で(上方)修正いたしました。

・なお配当につきましては、2013年5月14日付公表の期末配当予想7円を据え置いております。

【2014/3期(通期)の想定為替レート】

1USドル 95.00円、1ユーロ 123.00円

《所在地別(前年同期比)》

◇国内

・国内売上減少の主要因は、船用(大型船向け)及び建設機械向けの販売減。但し、期の後半にかけて減少幅は縮小傾向で推移。

自動車関連も、補助金終了反動減から国内自動車生産台数減少の影響を受け減少。

・営業損益は、主に高付加価値製品の割合が大きい非自動車分野の売上減少により減益。

◇海外(12月決算につき1~6月の累計)

【アジア】タイ、韓国を中心に自動車関連が順調に推移し、売上、利益ともに増加。

【北米】自動車関連は堅調に推移したが、鉱山機械の不振で米国建設機械メーカー向け販売が減少。営業損益のマイナス幅拡大は、主にメキシコ新工場(7月操業開始)に係る先行費用の計上による。

【欧州】自動車関連は欧州メーカー向け販売が堅調。船用売上(中・小型船向け)も堅調に推移した。

主要財務指標	2011/3末	2012/3末	2013/3末	2013/9末	2013/3末比
売上高営業利益率	12.2%	13.5%	8.9%	10.3%	+1.4P
自己資本当期純利益率(ROE)*	39.3%	20.7%	14.2%	12.6%	△1.6P
自己資本比率	29.2%	32.2%	36.3%	35.2%	△1.1P
有利子負債	29,086	28,208	26,911	34,765	7,853

*ROEは、四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2010/3期 通期	2011/3期 通期	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期
設備投資	2,943	2,763	5,596	10,040	4,103	4,046
減価償却費	5,363	4,763	4,566	4,838	2,200	2,349

(注)業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。